# ① 北海道のみなと

北海道には物流や人・車の移動、漁業、観光などのために整備された合計35港の**“みなと（港湾）”**があります。みなとは規模や役割によって4種類に分けられ、私たちの暮らしをさまざまな角度から支えています。

**【みなと（港湾）の種類 】**

**● 国際拠点港湾（２港湾）**

外国との貿易など国際海上輸送網の拠点となっている特に重要なみなと。全国で23港、北海道には2港あり、以前は特定重要港湾と呼ばれていましたが、2011年4月から名称が変更されました。

**● 重要港湾（10港湾）**

外国との貿易など国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となっているみなと。北海道では10港があります。

**○ 地方港湾（23港湾）**

重要港湾以外のみなとで、海上交通や漁業など地域の暮らしに大きな影響をもつみなと。北海道では23港があります。

**※国際戦略港湾（道内は無し）**

日本の国際競争力の強化を図ることを目的に、2011年4月から新たに位置付けられたみなと（港湾）。日本国内の国際戦略港湾として、本州の京浜港と阪神港があります。